

上智大学 研究データ管理・利活用ポリシー

制定 2024年7月1日

上智大学は、「叡智が世界をつなぐ Sophia-Bringing the World Together」にこめられた建学の理念実現のため、キリスト教ヒューマニズムの精神を根幹とし、世界の人々とともに歩む隣人性と国際性に裏打ちされた教育研究活動を推進する。その一環として、上智大学は研究活動によって得られた成果を蓄積し、更なる学問研究の発展と社会への還元を目指すにあたり、研究データの管理、公開および利活用の原則を以下のとおり定める。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、上智大学の研究活動の過程で研究者によって収集または生成されたデータ等を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理等）

2. 研究データの管理、公開および利活用の方法は、それを収集または生成した研究者が、それぞれの研究分野の特性を考慮した上で、法令や上智大学の規程、その他これに準ずるものの範囲内において、他の者の権利および法的利益を害さない範囲内で、決定することができる。

（研究者の責務）

3. 研究者は、研究データの価値を向上させるため、前項に掲げる範囲において、研究データを適切に管理し、可能な限り公開および利活用に供する。

（大学の責務）

4. 上智大学は、研究者の研究データの管理、公開および利活用を支援する環境を整えるものとする。

（その他）

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。

附則

このポリシーは、2024年7月1日から施行する。